

## 見える化状況検査（試行検査用） 評価基準運用細則

見える化状況検査については、横断的課題検討部会で了承された基準に基づき、検査担当者が検査を行う際の判断基準等を示したものである。

## 1. 検査の際に開示情報を確認する範囲

検査担当者が検査を行う際に確認する情報の範囲については、各府省で個別統計調査の解説のために設けているウェブサイト及び当該ウェブサイトからリンクにより到達できるサイト、ファイル並びに e-stat に収録されている情報とする。

各府省のウェブサイトに掲載されている場合であっても、統計調査の解説のために設けているウェブサイトまたは当該ウェブサイトからリンクで到達できない情報（例えば、統計委員会での説明資料、調達関係の仕様書、紙ベースの報告書などであって、統計調査の解説のために設けているウェブサイトからリンクが張られていないもの）は含めない。

ただし、目的とする事項がリンク先にあることの説明が全くなければ、上記に該当しないと判断する。

## 2. 一部基準の適用を行わない場合

- 1) 全数調査には「標本設計」及び「標本誤差」のスコアリングは行わない。
- 2) 有意抽出調査には、「標本誤差」のスコアリングは行わない。

## 3. 基準に記載された例示等について

## 1) 例示の取扱いの原則

原則として、基準に記載されている全ての当該例示事項（該当しない事項を除く。）が記載されている場合に条件を満たしているとする。

(例) 標本設計－水準 2 の「標本設計の方法（目標精度、一次抽出単位の層化の変数と方法、重複是正措置実施の有無等）」が説明されている。」の場合



「目標精度」、「一次抽出単位の層化の変数と方法」、「重複是正措置実施の有無」がすべて説明されていることが必要。

## 2) 例示に記載されている「等」の解釈

例示に記載されている「等」は、例示に記載されている内容の開示が1つ不足している場合であって、例示に類する別の内容が記載されていると検査担当者が判断する場合に当該基準を満たしていると解釈することを意味する。

(例) 標本設計—水準2の「標本設計の方法（目標精度、一次抽出単位の層化の変数と方法、重複是正措置実施の有無等）が説明されている。」の場合



例えば、「目標精度」、「一次抽出単位の層化の変数と方法」は開示されているが、「重複是正措置実施の有無」は開示されていない場合であって、「例外的に標本又は母集団から除外されている措置の内容」について開示がなされている場合、「例外的に標本又は母集団から除外されている措置の内容」を「重複是正措置実施の有無」に準じるものとし、基準を満たしていると判断する。

## 3) 「・」の取扱い

例示が「・」で繋がられている場合、“又は”（OR）を意味する。

4) 例示等の具体的内容については、別紙のとおりとする。

## 4. 用語について

○『アンダーカバレッジ』：目標母集団に属する調査単位が抽出フレームから遺漏することを示す。

○『実施系統・実施の流れ』：

△×省—都道府県—市区町村—統計調査員—調査対象などを示す。

○『回答誤差』：調査対象者が何らかの理由で実際とは異なる回答や、曖昧な回答をしてしまうことから回答結果に生じる誤差を示す。

○『季節調整情報』：季節調整を行う際の、使用しているプログラム・ソフトウェア、オプションなど「季節調整法の適用に当たっての統計基準」（平成23年3月25日総務省告示第96号）で開示することとされている全ての情報を示す。

## 見える化状況検査(試行検査用) 基準の具体的事例

※ 網掛けは基準に明記していない”等”の解釈事項

&lt;「標本設計」の評価は、全数調査を除く&gt;

## 標本設計

水準	基準	具体的な事項
0	標本設計に係る説明がない。	
1	標本設計の特徴(サンプルサイズ・抽出率、一次抽出単位の数、ローテーションの状況等)が簡潔に説明されている。	サンプルサイズ・抽出率
		一次抽出単位の数・抽出率
		※ 多段抽出の場合のみ
		ローテーションの状況
		※ ある場合のみ
		各段階(二次以降)での抽出数
		※ 多段抽出の場合のみ
		全体として、全数・無作為・有意の別
2	標本設計の方法(目標精度、一次抽出単位の層化の変数と方法、一次抽出単位内での層化と抽出方法、重複是正措置実施の有無等)が説明されている。	目標精度(達成精度、標本誤差でも良い)
		※ 全数調査、有意抽出調査を除く
		一次抽出単位の層化の変数と方法
		※ 層化がある場合のみ
		一次抽出単位内での抽出方法
		※ 多段抽出の場合のみ
		一次抽出単位内での層化の変数と方法
※ 多段抽出かつ層化(二次以降)がある場合のみ		
		重複是正措置実施の有無
		※ 事業所・企業対象の調査のみ
		各段階(三次以降)での層化の変数と方法
		※ 多段抽出(3以上)かつ層化がある場合のみ
		各段階(二次以降)での抽出方法
		※ 多段抽出の場合のみ
3	標本設計について、標本抽出が再現できるほど、詳細に説明されている。	各段階での名簿の整備方法
		例外処理
		※ ある場合のみ

## 情報集方法(調査方法)

水準	基準	具体的な事項
0	データ収集に係る説明がない。	
1	データ収集の特徴(郵送、オンライン、訪問等)が簡潔に説明されている。	郵送、オンライン、訪問等(これらが分かればよい。配布と回収が異なる場合には、それが分かるように)
2	データ収集方法の詳細(実施系統・実施の流れ、作業スケジュール等)が説明されている。	実施系統・実施の流れ(国から報告者に調査票等が届き、報告者からの回答を得るまでの間に関係する機関・者(自治体、民間事業者、調査員等)が説明されている。
		作業スケジュール(報告者に接触する時期)
		報告者からの回答期限
3	非回答、アンダーカバレッジ、回答誤差等を減らすために講じられるデータ収集の措置(調査の代替・補完として用いる行政記録情報、事務処理の基準、秘密保護のための措置、督促方法等)が説明されている。	調査の代替・補完として用いる行政記録情報
		※ ある場合のみ
		調査方法の詳細が分かる事務処理の基準、マニュアル等
		秘密保護のための措置
		※ 特別な取組がある場合のみ
		督促方法
		名簿整備の工夫
		報告者の質問等への対応方法

## 集計・推計方法

水準	基準	具体的な事項
0	結果(参考系列等を含む。)の集計・推計に係る説明がない。	
1	集計・推計の特徴(速報・確報の違い等)が簡潔に説明されている。	速報・確報の違い 線形推定、比推定、モデル推定等の別 復元倍率の簡単な説明(抽出率の逆数等) ※ ある場合のみ 当該調査以外の情報の利用の有無 ※ ある場合のみ
2	非回答の調整、季節調整情報、実施系統・実施の流れ、作業スケジュールなど、具体的な集計・推計方法が説明されている。	非回答の調整方法(復元倍率の変更等) 季節調整情報(季節調整法の適用に当たっての統計基準にある公表事項) ※ ある場合のみ 実施系統・実施の流れ(報告者からの回答を得てから結果公表に至るまでの間に関係する機関・者(民間事業者等)が説明されている。 作業スケジュール(公表スケジュールで良い) 遡及改定の方法 ※ ある場合のみ
3	集計・推計方法について、結果が再現できるほど、詳細に(欠測値や外れ値の処理等)説明されている。	欠測値の処理方法 外れ値の処理方法 復元倍率の決定方法 ※ ある場合のみ その他のeditingの処理方法(論理チェック等)

## 標本誤差

&lt;「標本誤差」の評価は、全数調査、有意抽出調査を除く&gt;

水準	基準	具体的な事項
0	標本誤差に係る説明がない。	
1	標本誤差が誤差の1つとして説明されている。	標本誤差があることの言及
2	代表的な推定値に対して標本誤差(数値)が示されている。その計算方法が説明されている。	代表的な推定値に対する標本誤差(数値) その計算方法・計算式・モデル等
3	(ほぼ)全ての推定値に対して標本誤差(数値)が示されている。その計算方法(モデル等)が説明されている。	ほぼ全ての推定に対する標本誤差(数値) その計算方法・計算式・モデル等

## 他統計との比較・分析

水準	基準	具体的な事項
0	他の類似統計(参考系列や標本分布状況を含む。以下同様。)に係る説明がない。	
1	他の類似統計との差異について説明がなされている。	差異についての説明
2	他の類似統計との比較を示す表や図がある。	比較を示す表や図 ※ 類似統計がある場合のみ
3	他の類似統計との詳細な比較分析が行われ、その結果が公開されている。	詳細な比較分析の結果の公開(比較分析、研究の結果などと称していればOK)

※ 網掛けは「等」を解釈する際に参照する事項